

令和5年度
事業報告書



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高知県支部

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

令和5年度 事業報告書(目次)

1. 災害救護	頁
(1) 救護活動	1
(2) 救護員育成	3
(3) 救護員の登録・編成状況	5
(4) 救護資機材の整備状況	6
(5) 救援物資の整備状況	7
(6) 防災・減災の取組み	8
(7) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況	13
(8) 臨時救護	14
2. 社会活動(講習普及事業)	
(1) 各講習の活動概要	15
(2) 赤十字救急法等指導員養成講習	15
3. 青少年赤十字事業	
(1) 活動概要	17
(2) 加盟校概要	19
高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ	20
(3) 指導者対象の協議会、研修	21
4. 國際活動	
(1) 國際救援・開発協力事業	22
(2) NHK海外たすけあい	22
5. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	
(1) 地域奉仕団	23
(2) 特殊奉仕団	25
(3) 青年奉仕団	25
6. 赤十字思想の普及・広報活動	
(1) 赤十字月間、イベント	26
(2) DM、広報誌	26
(3) 赤十字思想の普及	26
7. 会員、活動資金	
(1) 会員概要	27
(2) 活動資金募集状況	27
(3) 活動資金目標額設定会議	27
(4) 日赤市地区・町村分区事務担当者会	28
(5) 企業等とのパートナーシップ	28
(6) 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式	29
8. 評議員、有功会等	
(1) 評議員会	31
(2) 高知県赤十字有功会	31
(3) アドバイザーミーティング	32
9. 旧社屋及びプレハブの解体	32
10. 決算概要	
令和5年度 一般会計歳入歳出決算概算書	33
11. 資料	
令和5年度 地区分別活動資金実績	34

令和5年度 事業報告

1. 災害救護

(1) 救護活動

災害の発生に備え、日本赤十字社高知県支部に救護班 6 班、高知赤十字病院にDMAT（災害派遣医療チーム）6 チームを常設し、適切かつ迅速な災害救護活動の実施に向けた取り組みを行った。

ア 令和6年能登半島地震への対応

1月1日、発災直後から日赤高知県支部災害対策本部を立ち上げ、関係機関と連携を図り、情報収集を行うとともに、医療救護班など延べ32名の職員を被災地に派遣し、支援を実施した。

チーム名	活動期間	主な活動場所	人員
※1 高知赤十字病院 DMAT	1/11～18	穴水総合病院	医師1名、看護師長1名、看護師1名、業務調整員2名
※2 日赤災害医療 コーディネートチーム第1班	1/13～18	石川県庁	コーディネーター（医師）1名、スタッフ2名
日赤救護班第1班	1/24～29	七尾市	医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名、支部職員1名
※3 四国こころのケアチーム	2/2～8	志賀町	看護師長1名
被災地の病院支援	2/6～12	輪島総合病院	看護師1名
日赤災害医療 コーディネートチーム第2班	2/15～20	珠洲市 保健医療調整本部	コーディネーター（医師）1名、スタッフ2名
日赤救護班第2班	2/22～26	七尾市	医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事3名、支部職員1名
こころのケア調整班	3/15～23	日赤石川県支部	こころのケア指導者1名
中四国こころのケアチーム	3/23～29	輪島市	看護師長1名

(※1) DMAT は、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」です。

(※2) 日赤災害医療コーディネートチームは、災害時に、被災地の保健医療ニーズを把握し、医療救護の専門的観点から本部にて救護班の活動等に関する調整を行うチームです。

(※3) こころのケアは、災害によるストレスを受けた全ての被災者を対象として、精神的なダメージ、心身の疲労、避難生活などから生ずると考えられるストレス状態の軽減を図ることを目的に行います。



イ 県内の災害被災者への救援、支援について

住家火災等によって被災された 21世帯 43名の方に、毛布 30枚、緊急セット 19個、バスタオル 20枚の災害救援物資をお届けした。

(ア) 地区別救援物資配布状況 [火災等による救援物資の配布]

地区分区名	世帯	人数	毛布	緊急セット	タオル	災害区分
高知市	7	15	4	7	0	火災
室戸市	2	2	2	2	2	火災
香南市	1	4	4	0	4	火災
香美市	1	5	4	0	0	火災
南国市	2	5	5	2	2	火災
土佐市	2	3	3	2	3	火災
宿毛市	2	4	4	2	4	火災
芸西村	2	2	1	2	2	火災
本山町	1	1	1	1	1	火災
越知町	1	2	2	1	2	火災
合計	21	43	30	19	20	

(イ) 災害弔慰金の交付

- ・火災で亡くなられた方のご遺族に弔慰金 1件 10,000 円をお届けした。

(2) 救護員育成

ア 救護・受援体制の確立

災害救護は日本赤十字社の最も重要な事業であり、南海トラフ地震に向けて救護班活動の充実、強化を目標に、管下施設間及び中国四国ブロック、行政等との研修・訓練に取り組んだ。

イ 主な災害救護訓練、研修会

(ア) 本社関係

① こころのケア指導者養成研修会

令和5年10月11日（水）～12日（木）、被災者等に対して実施する「こころのケア」の要員を養成する指導者の養成研修会に、高知県赤十字血液センターから1名が参加した。

② 日赤災害医療コーディネート研修会

令和5年7月8日（土）～9日（日）、日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に開催された第1回研修会に、受講者として高知赤十字病院から2名参加した。

また、第2回研修会に指導スタッフとして高知赤十字病院からコーディネーター（医師）1名が参加した。

(イ) 第5ブロック（中四国）関係

中国四国ブロック各県支部合同災害救護訓練が令和5年11月10日（金）～11日（土）に各県支部から救護班が愛媛県に参集し、実動訓練を実施した。当県支部からは、日赤災害医療コーディネートチームが参加し、日赤愛媛県支部災害対策本部にて被災情報の収集などを行った。

また、鳥取県で開催予定の「第5ブロック災害対策本部要員研修会」は令和6年能登半島地震により中止となった。

(ウ) 高知県支部主催関係

感染対策に留意し、集合形式で以下の訓練等を実施した。

① 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練

令和5年10月7日（土）～8日（日）、これまでの救護活動を踏まえ、災害救護業務を迅速かつ適切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的に、総合あんしんセンター及び高知市城西公園を会場に開催した。座学や実動訓練等に、高知赤十字病院及び高知県赤十字血液センターの医師・看護師等の救護員をはじめ、講師・スタッフ、防災奉仕団等約130名が参加した。

また、高知市地区赤十字奉仕団員による炊き出し訓練も実施され、参加者は非常食を体験した。



② 救護主事対象赤十字災害救護研修会

令和5年6月14日（水）、救護主事の役割を理解し、十分な知識と技術を持った救護主事の養成を図ることを目的に開催した。高知赤十字病院から主事8名、高知県赤十字血液センターから主事2名が参加し、通信機器の取り扱いや情報の集約について実習を行い、救護活動において必要となるトイレや電気を確保するための資機材の取り扱いについての研修を実施した。

(エ) 国・県・市町村主催関係

① 高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル

令和5年5月28日（日）、奈半利町緑地公園（メイン会場）で開催され、高知赤十字病院からスタッフ1名（医師）、救護班7名（医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名）が参加し、大規模地震災害が発生したことを想定のもと、他県支部（広島県、愛媛県）から日赤救護班の受け入れを行い、dERUを開設し、高知医療センターDMAT（災害派遣医療チーム）や安芸郡医師会の医師らとともに多数傷病者の受け入れ訓練を実施した。

なお、併設されたフェスティバル会場では、安芸ブロックの赤十字奉仕団19名により炊き出し訓練が行われ、約400食の非常食を来場者に体験していただいた。さらに、安全赤十字奉仕団2名が身近なものを使った応急手当を65名の方に実施した。

② 高知市総合防災訓練

令和6年1月20日（土）に開催されたが、令和6年能登半島地震の対応のため災害医療訓練は実施されなかった。

③ 高知県災害対策本部事務局等震災対策訓練（図上訓練）

令和6年2月6日（火）、南海トラフ地震発生時における災害対策本部事務局等の運営を検証するとともに、関係機関との連携や職員の災害対応能力の向上を図ること等を目的とした訓練が実施された。支部からは職員1名を県庁にリエゾンとして派遣した想定で参加した。

(3) 救護員の登録・編成状況

ア 赤十字常備救護班

班名	構成組織	班員 (人)	職種別班員数(人)				
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事
第1班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第2班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第3班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第4班	血液センター・病院	7	1	1	2	1	2
第5班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第6班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
合 計		42	6	6	12	6	12

※その他医療救護に関する指導を目的に特命救護班1名を任命し、医療救護体制の充実を図っています。

イ 災害派遣医療チーム（DMA T）

チーム数：6チーム（医師1名、看護師2名、業務調整員1名を1チームとして算出）

構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)		
		医師	看護師	業務調整員
赤十字病院	30	8	13（うち看護師長4）	9

※その他DMA T隊員（業務調整員）在籍状況：支部 2名、血液センター 1名

(4) 救護資機材の整備状況

ア 支部の主要救護装備

品目	数量	備考
車両	8台	救急車1台、dERU（国内型緊急対応ユニット）1台、災害救援車（赤色灯あり）1台、災害救援車（赤色灯なし）5台
通信環境	災害用電話	4台 高知県防災行政無線1台、衛星携帯電話1台、携帯電話2台
	業務用無線150メガ帯	18局 基地局1局、車載型8局、携帯型9局 <u>※令和5年度、基地局の登録点検、dERUにアンテナ設置</u>
	業務用無線400メガ帯	22局 基地局1局、車載型8局、携帯型13局 <u>※令和5年度、dERUにアンテナ設置</u>
	アマチュア無線局	1局
テント	18張	エアーテント3張、ドラッシャテント1張、その他14張 <u>※令和5年度 本社整備によりエアーテント1張導入</u>
発電機・投光器	9台	発電機7台、発電機付大型投光器2台
担架	23本	担架23本、その他担架台10台
簡易ベッド	26台	
浄水器	1組	
自動ラップ式トイレ	12台	
AED（自動体外式除細動器）	4台	

イ 救護班活動用食料（令和5年度末現在）

品目	数量	備考
災害用備蓄食料 (レスキューフーズ)	192食	①シチュー：60食 ②中華丼：72食 ③牛丼：60食
非常食	200食	アルファ米（五目ご飯）：200食
保存水	894L	①500mL×24本×38箱 ②1.5L×10本×10箱 ③2L×6本×24箱

(5) 救援物資の整備状況

ア 救援物資の備蓄状況（令和5年度末現在）

品目	在庫数	品目	在庫数
毛布	2,246 枚	タオルケット	800 枚
緊急セット	1,111 個	バスタオル	565 枚
安眠セット	542 個	※令和5年度、バスタオル 130枚購入	



【 毛布 】



【 緊急セット 】

(6) 防災・減災の取組み

ア 防災セミナーの開催

災害に備え、自助、共助のための知識を身につけてもらうことを目的に開催しており、日赤地域奉仕団や青少年赤十字加盟校などからの依頼により赤十字奉仕団員、社協職員、地域住民、学生を対象に「赤十字防災セミナー」を開催した。

災害への備え（5回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 6. 21	高知市	高知商業高校	35	1	0
R 5. 6. 26	梼原町	日本赤十字社高知県支部 高幡地区	27	1	0
R 5. 9. 9	南国市	稻生地区 健康文化都市づくり 推進委員会	33	1	0
R 6. 2. 21	室戸市	室戸市地区赤十字奉仕団	42	1	0
R 6. 2. 29	香南市	香南市立野市中学校	178	1	0

災害図上訓練（D I G）（2回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 8. 22	安芸市	安芸市社会福祉協議会	6	2	0
R 6. 1. 30	いの町	日本赤十字社高知県支部 いの町分区	30	1	4

家具安全対策ゲーム（K A G）（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 6. 3	高知市	日本赤十字社高知県支部	16	4	0

おうちのキケン（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 9. 21	高知市	高知市立朝倉第二小学校	132	1	0

イ 防災教育事業指導者の養成

地域での防災意識の啓発に寄与するため、「赤十字防災セミナー」を指導できる指導者の養成研修を開催し、社協職員、地域奉仕団、防災奉仕団、赤十字職員が参加、9名の新任指導者が誕生した。

防災教育事業指導者養成研修（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 9. 22-23	高知市	日本赤十字社高知県支部	9	2	4

ウ 「まもるいのち ひろめるぼうさい」の開催

小・中・高等学校の児童・生徒が、自然災害に対して自助、共助の力を身につけることを目的に本社が作成し、県内すべての学校に配布している防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」のグループワークを学校からの依頼により開催した。

竹ひごタワー（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 5. 11	土佐市	土佐市立土佐南中学校	22	2	0

エ 「避難所運営ゲーム（HUG）」の開催

避難所で起こる出来事や様々な事情を抱えた避難者への対応などをゲーム形式で考える「避難所運営ゲーム（HUG）」を学校などからの依頼に応じて開催した。

避難所運営ゲーム（HUG）（8回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	指導者数（人）	
				支部職員	防災奉仕団
R 5. 5. 11	三原村	三原村立三原中学校	28	3	2
R 5. 6. 21	高知市	高知商業高校	35	2	1
R 5. 6. 26	梼原町	日本赤十字社高知県支部 高幡地区	27	1	4
R 5. 9. 9	高知市	NPO 法人 日本防災士会高知	13	1	2
R 5. 10. 21	馬路村	馬路村立 馬路小・中学校	37	1	0
R 5. 11. 6	黒潮町	黒潮町立 佐賀小・中学校	38	1	0
R 5. 12. 6	高知市	認定こども園 もみのき幼稚園	43	1	0
R 6. 2. 1	高知市	高知市立青柳中学校	84	2	4

才 高知県内の市町村・社協との協定の締結

平成27年度から、高知県内の市町村・社協と包括的な連携・協力のもと人道的な活動を展開し、市民の安心・安全及び福祉の向上に資するため業務提携に関する協定を締結している。

日赤の知識と技術を取得した人材を地域で養成すること等により、当該人材の地域活動を通じた地域の防災・減災対策の普及や、奉仕団等との連携による迅速な災害救護活動の遂行に向けた積極的な取り組み、救急法等の一次救命処置の実践等により、地域住民の安心・安全のための活動が進むことが期待されている。

(ア) 協定締結先一覧

締結日	協定締結先
H27. 11. 24	安芸市社会福祉協議会
H28. 5. 11	南国市・南国市社会福祉協議会
H29. 2. 17	中土佐町・中土佐町社会福祉協議会
H29. 5. 30	四万十市・四万十市社会福祉協議会
H29. 8. 8	土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会
H30. 10. 23	仁淀川町・仁淀川町社会福祉協議会
H30. 10. 25	室戸市・室戸市社会福祉協議会
H30. 10. 31	馬路村・馬路村社会福祉協議会
H30. 10. 31	北川村・北川村社会福祉協議会
H31. 4. 4	香南市・香南市社会福祉協議会
H31. 4. 26	黒潮町・黒潮町社会福祉協議会
R 2. 10. 2	土佐市・土佐市社会福祉協議会



(イ) 協定締結団体との取り組み

協定締結地域における市町村及び社協職員、地域住民を対象とした救急員等の養成講習を四万十市、土佐清水市で4年ぶりに開催した。

また、「N P O 法人日本防災士会高知」との連携として、防災士会高知からの依頼により避難所運営ゲーム（HUG）を開催した。

高知県内の協定締結団体との取り組み

	団体名称（市町村・社協）		開催日	内 容
1	安芸市社会福祉協議会		R 5. 8.22	赤十字防災セミナー（DIG）
				社協職員、高知県立大学生 6名
2	中土佐町 社会福祉協議会	中土佐町 社会福祉協議会	R 5. 10.14 R 5. 10.15	中土佐防災フェスタ (赤十字ブースで応急手当体験・車両展示)
				地域住民 約40名（ブース訪問）
3	黒潮町 社会福祉協議会	黒潮町 社会福祉協議会	R 5. 9.22 ～23	防災教育事業指導者養成研修（支部主催）
				社協職員2名が受講
4	四万十市 社会福祉協議会	四万十市 社会福祉協議会	R 5. 11.23	赤十字救急法基礎講習
				社協職員、地域住民 20名
			R 5. 11.25 ～26	赤十字救急法救急員養成講習
				社協職員、地域住民 20名（基礎講習修了者）
5	土佐清水市 社会福祉協議会	土佐清水市 社会福祉協議会	R 6. 2. 4	赤十字救急法基礎講習
				社協職員、市職員、地域住民 25名
			R 6. 2. 10 ～11	赤十字救急法救急員養成講習 社協職員、市職員、地域住民 24名（基礎講習修了者）

	団体名称	締結日	内 容
1	NPO 日本防災士会高知	R 4. 9. 9	防災士さんと一緒に学ぼう災 in 高知 R05. (HUG 体験)
			防災士 13名

高知県内の協定締結団体における救急員・指導員養成状況

	団体名称（市町村・社協）		協定締結日	種別
1	安芸市社会福祉協議会		H27. 11. 24	救急法指導員
				救急員
2	中土佐町 社会福祉協議会	中土佐町 社会福祉協議会	H29. 2. 17	救急員
				幼児安全法支援員
3	四万十市	四万十市 社会福祉協議会	H29. 5. 30	救急法指導員
				救急員
4	土佐清水市	土佐清水市 社会福祉協議会	H29. 8. 8	救急員
5	馬路村	馬路村 社会福祉協議会	H30. 10. 31	救急法指導員
				救急員

(7) 国内災害支援金・海外救援金の受付状況

国内災害支援金や海外救援金の発生の都度、支部ホームページへの掲載や各地区・分区に通知し、広く県民に広報するとともに協力を受け付けている。

ア 【国内災害支援金】（令和6年3月末現在）

No.	名称	令和5年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	令和5年5月 能登地方地震 災害支援金	1件	4,608円	1件	4,608円	令和5年5月10日～ 令和5年9月29日 受付終了
2	令和5年 台風第2号等大雨 災害支援金	0件	0円	0件	0円	令和5年6月9日～ 令和5年9月30日 受付終了
3	令和5年6月30日 からの大雨 災害支援金	0件	0円	0件	0円	令和5年7月12日～ 令和5年12月29日 受付終了
4	令和5年7月7日 からの大雨 災害支援金	1件	9,342円	1件	9,342円	令和5年7月18日～ 令和6年3月29日 受付終了
5	令和5年 台風第6号 災害支援金	0件	0円	0件	0円	令和5年9月1日～ 令和5年11月30日 受付終了
6	令和5年 台風第13号 災害支援金	2件	34,755円	2件	34,755円	令和5年9月13日～ 令和5年12月31日 受付終了
7	令和6年 能登半島地震 災害支援金	135件	104,279,132円	135件	104,279,132円	令和6年1月4日～ 令和6年12月27日

イ 【海外救援金】（令和6年3月末現在）

No.	名称	令和5年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	中東人道危機救援金	0件	0円	3件	510,200円	平成27年4月1日～ 令和7年3月31日
2	バングラデシュ 南部避難民救援金	0件	0円	2件	510,000円	平成29年9月22日～ 令和7年3月31日
3	アフガニスタン 人道危機救援金	0件	0円	1件	3,000円	令和3年9月22日～ 令和7年3月31日

4	ウクライナ 人道危機救援金	4 件	108,000 円	78 件	2,150,421 円	令和 4 年 3 月 2 日～ 令和 7 年 3 月 31 日
5	2023 年トルコ・シリア 地震救援金	10 件	368,269 円	41 件	1,217,830 円	令和 5 年 2 月 9 日～ 令和 5 年 5 月 31 日 受付終了
6	2023 年アメリカ・ハワイ 火災救援金	0 件	0 円	0 件	0 円	令和 5 年 8 月 18 日～ 令和 5 年 10 月 31 日 受付終了
7	2023 年モロッコ 地震救援金	1 件	20,000 円	1 件	20,000 円	令和 5 年 9 月 12 日～ 令和 5 年 11 月 30 日 受付終了
8	2023 年リビア洪水 救援金	0 件	0 円	0 件	0 円	令和 5 年 9 月 14 日～ 令和 5 年 11 月 30 日 受付終了
9	2023 年アフガニスタン 地震救援金	0 件	0 円	0 件	0 円	令和 5 年 10 月 11 日～ 令和 5 年 12 月 29 日 受付終了
10	イスラエル・ガザ 人道危機救援金	2 件	5,954 円	2 件	5,954 円	令和 5 年 10 月 17 日～ 令和 6 年 9 月 30 日

(8) 臨時救護

県民の皆さまが多数参加される各種行事や大会、護国神社での祭事、マラソン等のイベントに医師、看護師、安全赤十字奉仕団等を派遣し、救護活動を行った。

令和 5 年度の実績は次のとおり。

日 時	内 容	日 時	内 容
4/ 2 (日)	護国神社春季大祭	5/ 20 (土) ～ 5/ 22 (月)	高知県高等学校体育大会 【登山の部】
6/16 (金) ～ 6/18 (日)	四国高等学校体育大会 【登山の部】	8/10 (木) ～ 8/11 (金)	よさこい祭り
10/21 (土)	フィリピン戦域戦没者 慰靈祭	11/ 2 (木)	護国神社秋季大祭
11/19 (日)	ひだか茂平リレーマラソン	12/10 (日)	人権啓発フェスティバル 「ここるんフェスタ」
2/18 (日)	高知龍馬マラソン		

○常設医薬品の設置

航空機や空港施設を利用される方などの「もしもに備えて」高知龍馬空港の総合案内に救急箱を設置している。

2. 社会活動(講習普及事業)

(1) 各講習の活動概要

災害や日々の事故に備え、安全で健康な生活を営む方法や尊い人命を救助する知識と技術を普及するため、救急法・水上安全法・雪上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法（養成及び短期講習）や防災講習会を県内各地で実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び受講者、指導員の安全確保の観点から実施要件を定め、感染対策を十分に講じて実施した。12月1日からは従前とおりの講習を再開したが、赤十字救急法基礎講習については、感染予防の観点から人工呼吸の実技は指導員のデモンストレーションを含めて実施しないことは継続している。

また、高知市教育委員会からの委託事業として、高知市内の全小学5年生を対象に心肺蘇生講習を実施した。

(2) 赤十字救急法等指導員養成講習

新型コロナウイルス感染症対策として、対象を赤十字職員と警察関係者に限定し、赤十字救急法指導員養成講習を開催した。

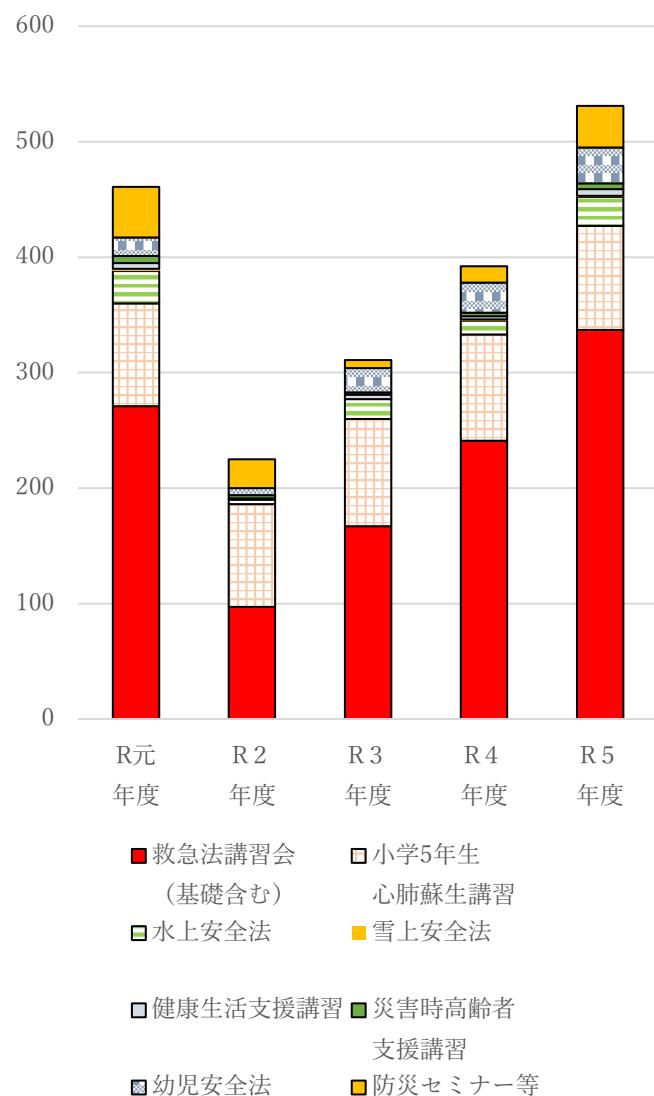
受講者全3名が合格し、今後、県内における赤十字救急法講習普及への積極的な参加が期待されている。

(講習等回数)

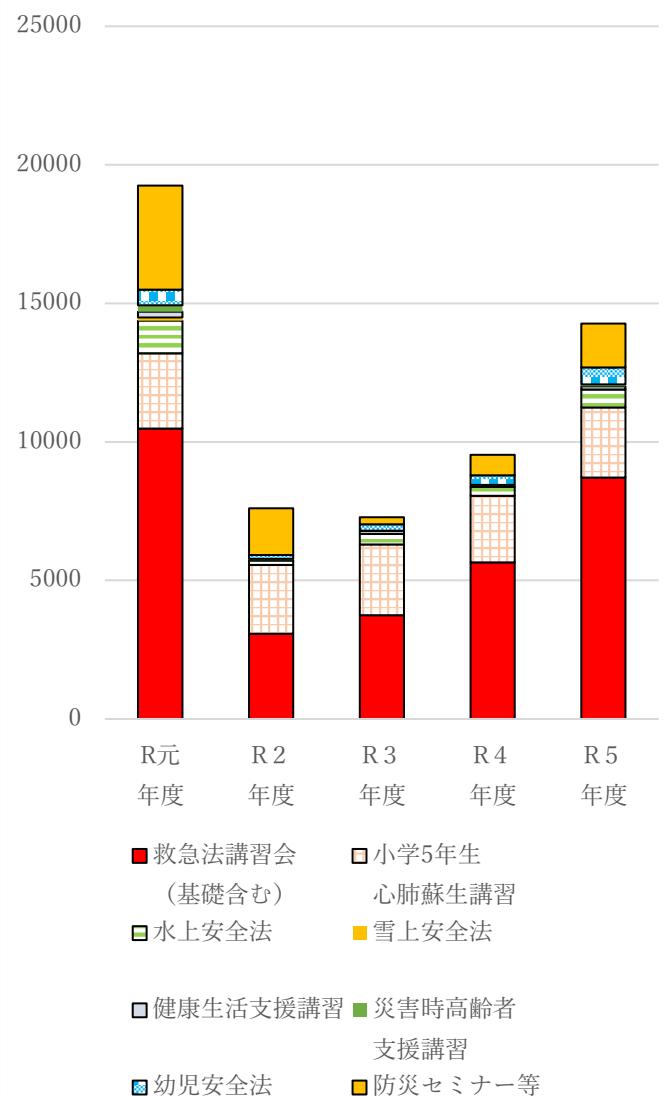
(受講者数)

R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	講習名	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
271	97	167	241	337	救急法講習会(基礎含む)	10,476	3,079	3,751	5,648	8,709
89	89	93	92	90	小学5年生心肺蘇生講習	2,724	2,483	2,544	2,402	2,530
28	4	17	12	25	水上安全法	1,180	163	383	330	652
2	0	0	1	1	雪上安全法	112	0	0	4	3
5	1	4	3	6	健康生活支援講習	206	5	111	27	114
6	3	2	3	5	災害時高齢者支援講習	232	52	6	38	72
16	6	21	26	31	幼児安全法	563	130	227	349	605
44	25	7	14	36	防災セミナー等	3,761	1,688	259	731	1,581
461	225	311	392	531	合計	19,254	7,600	7,281	9,529	14,266

講習回数の推移



講習受講者の推移



3. 青少年赤十字事業

(1) 活動概要

ア 県全体の活動

日 程	事業名	内 容
4/22 (土)	赤十字運動 月間啓発パレード	県内 JRC 加盟高等学校のうち 2 校から、JRC メンバー38 名・指導者 1 名が参加 赤十字の活動を PR するために帶屋町でパレード、中央公園にて街頭募金活動を行った。
6/ 3 (土)	高知県青少年赤十字高等学校連合会総会	県内 JRC 加盟高等学校 2 校（土佐高校・土佐女子高校）から合計 16 名、指導者 1 名が参加。 開催内容は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ○令和 5 年度役員選出 ○各学校における取組み紹介・意見交換 ○赤十字防災セミナーアクティビティ ○グループワーク「私たちにできる赤十字活動」
7/28 (金) ～ 7/30 (日)	高知県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	国立室戸青少年自然の家で開催。県内 JRC 加盟校から小学生 8 名、中学生 8 名、高校生 6 名の JRC メンバーと指導者、スタッフ 15 名が参加。 楽しい雰囲気の中、アイスブレーキングや貿易ゲーム、フィールドワークなどを実施し、「気づき、考え、実行する」という主体性を身に着けられるよう取り組んだ。
12/ 3 (日)	青少年赤十字 100 周年記念高知県青少年赤十字研究大会	県内 JRC 加盟高等学校 4 校（土佐中高・土佐女子中高・大方高・高知中高）から合計 24 名、県教委 1 名、指導者 4 名、奉仕団員 22 名が参加。各校の活動発表や講演を通して、高知県内の学校間の交流や青少年赤十字への理解を深めた。 内容は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ○高知中高「本校の防災の取組みについて」 ○大方高「大方高校の防災に関する活動実績の報告」 ○土佐中高「ゴミ捨て場改革（経過報告）」 ○講演 「高知の未来を考える “フューチャー・デザイン R05.”」 講師：一般社団法人フューチャー・デザイン
12/ 3 (日)	NHK 海外たすけあい街頭募金活動	県内 JRC 加盟中学高等学校 3 校（土佐中高・土佐女子中高・大方高）から JRC メンバー22 名、指導者 2 名のほか、奉仕団員等 15 名が参加。世界各地で多発する自然災害や武力紛争等による犠牲者の緊急支援事業等を実施するための街頭募金を帶屋町などで実施した。 募金額：42,876 円



赤十字運動月間啓発パレード



リーダーシップ・トレーニング・センター



NHK 海外たすけあい街頭募金



高知県青少年赤十字研究大会

イ 本社主催事業への参加

日 程	事 業 名	内 容
11/23 (木) ～ 11/26 (日)	令和5年度 青少年赤十 字国際交流 集会	土佐高校からメンバー1名が参加。日本と海外の青少年赤十字の仲間と一緒に生活し、相互理解を深めながら、同じ赤十字の旗の下で活動している仲間として連帯感を高め、今後の活動へ生かしていくことを目的に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。



令和5年度青少年赤十字国際交流事業



こんなに仲良くなれるもんなんだなって

(2) 加盟校概要

ア 青少年赤十字への加盟状況 (単位:校)

※ 加盟校一覧マップ次頁

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高等学校	22	20	21	22	26
中学校	29	27	26	28	28
小学校	67	47	59	57	55
幼・保	9	5	7	7	12
特別支援学校	12	11	11	13	12
義務教育学校	-	-	-	-	3
合 計	139	110	124	127	136

イ 各校の活動(抜粋)

JRC加盟校には支部職員や安全奉仕団指導員を講師として派遣し、感染対策に留意しつつ様々な活動が行われた。

救急法	心肺蘇生やAEDの使い方、応急手当等を学ぶ講習を実技・座学を交えて実施した。
水上安全法講習	水の事故からいのちを守る対処法などについての座学を実施した。
防災学習	過去の大規模災害における日本赤十字社の救護活動等について伝えるとともに、南海トラフ地震等の災害に備える知識を身につける座学を実施。また、HUG（避難所運営ゲーム）を高知県内の中学校2校で行った。
平和学習	国際人道法普及などを目的として、世界の紛争地域の子どもたちが少年兵や地雷被害などで苦しんでいる現状への理解を深める講習を実施した。

ウ 青少年赤十字加盟校で行った各種講習会等 (単位:回)

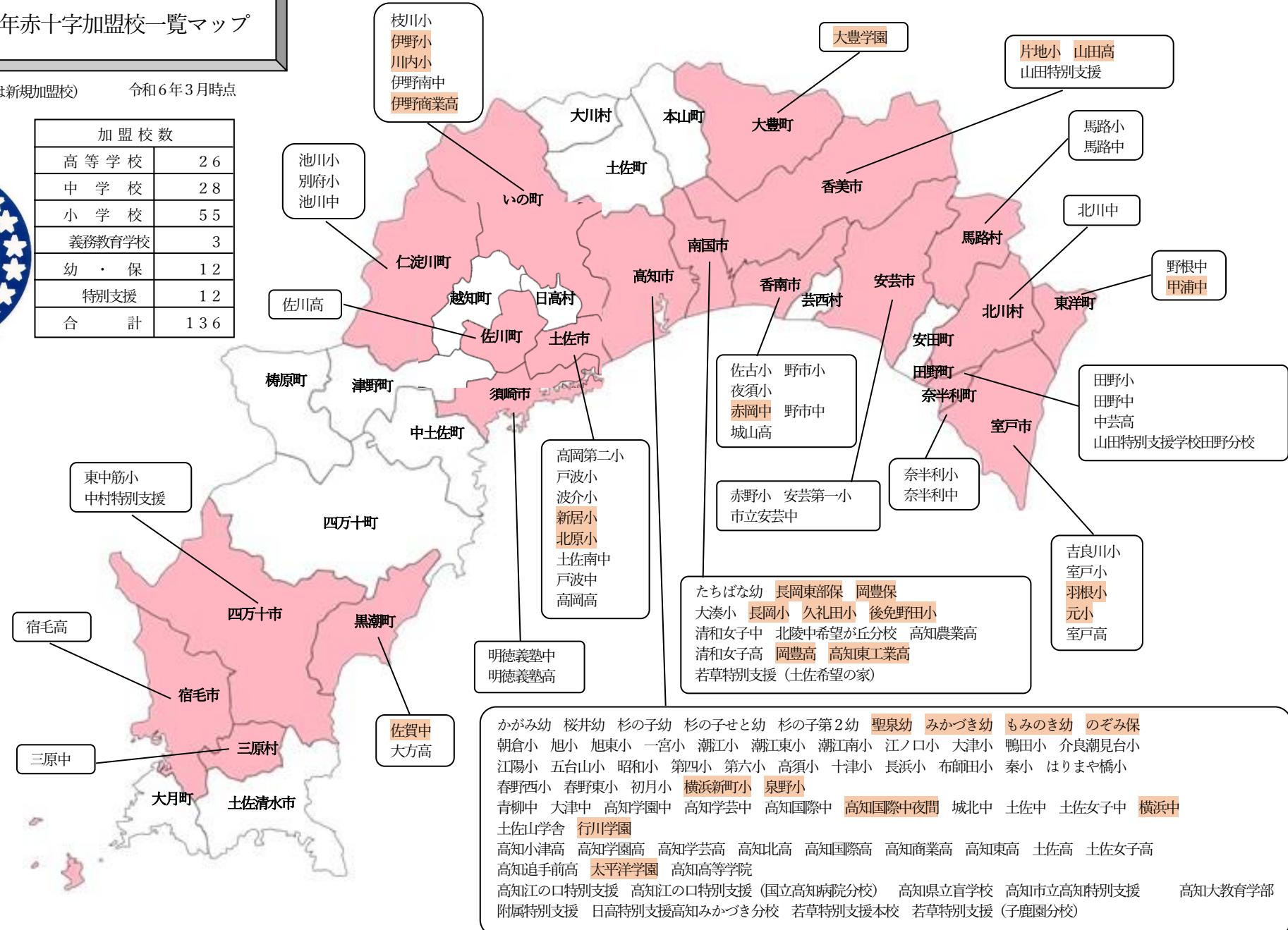
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
救急法	99	55	74	94	133
水上安全法	19	3	9	4	16
雪上安全法	1	0	0	0	0
幼児安全法	6	0	3	4	12
防災学習	27	13	8	6	15
平和学習	6	4	1	3	3
新型コロナウイルスについての学習	-	-	2	1	0
登録式など	2	0	0	3	0
合 計	160	79	97	115	179



高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ

(*網掛けは新規加盟校) 令和6年3月時点

加盟校数	
高等学校	26
中学校	28
小学校	55
義務教育学校	3
幼・保	12
特別支援	12
合計	136



(3) 指導者対象の協議会、研修

- 高知県青少年赤十字指導者協議会および高知県青少年赤十字賛助奉仕団活動

日 程	講習会・研修会名	内 容
5/26（金） ～ 5/28（日）	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	本社主催。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者を養成することと、現在、青少年赤十字で取り組んでいるプログラムについて説明し、一層の普及を図ることを目的として開催。令和5年度は本県からの参加なし。
6/27（火） 13：00～14：00	高知県青少年赤十字賛助奉仕団総会	高知県青少年赤十字賛助奉仕団等6名が出席し、役員改選や令和4年度の事業報告、令和5年度の事業予定や取り組みについて協議した。
6/27（火） 14：30～15：30	高知県青少年赤十字指導者協議会	高知県青少年赤十字指導者2名と賛助奉仕団3名が参加し、以下の協議を行った。 (総会) ・役員改選 ・令和4年度青少年赤十字活動実績報告 ・令和5年度青少年赤十字事業計画
6/30（金）	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	本社主催。各都道府県の指導者協議会長が一堂に会し青少年赤十字活動の普及等について意見交換を行った。 本県からは指導者協議会会長が出席した。
7/11（火） 7/12（水）	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	本社主催。各都道府県の賛助奉仕団委員長が一堂に会し、指導者協議会との連携や赤十字思想の普及と防災教育の充実などについて意見を交換した。 本県からは欠席となった。
10/26（木） 10/27（金）	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	愛媛県が担当で集合型により開催。中国・四国ブロック各県における活動や課題について協議を行い、交流を深めた。本県から委員長が参加。
11/ 9（木） 11/10（金）	第5ブロック各県青少年赤十字指導者協議会長ならびに事務担当者会議	香川県が担当で集合型とオンラインのハイブリッドで開催。第5ブロック（中国・四国ブロック）における青少年赤十字の普及と充実強化を図るため、各県から提出された青少年赤十字に関する議題について意見交換が行われた。 本県は指導者協議会長が欠席となり、副会長と事務担当者が参加した。
1/12（金）	青少年赤十字研究会	本社主催。青少年赤十字を的確に理解し、現在の学校教育における青少年赤十字の現状と成果について認識するため、講演の聴講やグループワークを行った。 令和5年度は本県からの参加なし。

4. 国際活動

(1) 国際救援・開発協力事業

中国・四国9県の赤十字支部の国際救援活動として、「アジア・大洋州給水・衛生キット事業」に700万円の資金援助を行い高知県支部から544,871円を拠出した。



キット：浄水ユニット、タンク、浄水剤、水質検査キット、簡易トイレ設置用資材、衛生教育用資材など

(2) NHK海外たすけあい

世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国、災害常襲地への開発協力などを実施するため、12月にNHKの協力のもと「第41回海外たすけあい寄付金募集」キャンペーンを行い、以下の協力を受け付けた。

○ 募集実績額

	取扱件数	実 繢 額
高知県支部実績分	719件	4,054,102円
全国受付分 (高知県支部を含む)	84,339件	863,841,244円

5. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

○奉仕団結成状況（令和6年3月末時点）		
種別	団数	団員数
地域奉仕団	31	3,572名
特殊奉仕団	11	258名
青年奉仕団	2	10名
合計	44	3,840名



(1) 地域奉仕団

ア 活動資金募集

5月の赤十字月間に限らず、各市町村の状況に応じて時期を変えて奉仕団員が地域内の家庭や企業等を訪問するなど、赤十字活動への理解と赤十字の活動資金の増強に向けて取り組んだ。

イ 令和5年度 奉仕団活動重点項目

以下の重点項目を掲げ取り組んだ。

- ①赤十字の見える化を図る
- ②地域住民を対象とした奉仕団主催の活動を積極的に実施する
- ③JRC（青少年赤十字）活動への支援と加盟校の拡大に努める
- ④各地区・分区で奉仕団員を対象とした基礎研修を実施する
- ⑤県内全奉仕団の活動紹介冊子を作成する
- ⑥新規奉仕団員の獲得及び赤十字会員の増強に努める

ウ 奉仕団の各種会議、研修会、訓練

令和5年度については、主要会議、奉仕団研修会および訓練での炊き出しを実施した。また、全国的な会議・研修会に参加した。

令和5年度の主な会議、研修会の開催状況は以下のとおり。

(ア) 会議関係

開催日	名称（開催場所）	内容
6月 1日(木)～ 6月 2日(金)	赤十字奉仕団中央委員会 (東京本社)	本社が主催、全国の奉仕団活動状況の情報共有となる会で、赤十字奉仕団高知県支部委員会副委員長が出席。
2月 13日(火)	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会合同役員会（高知県支部多目的室）	当該年度の活動の総括及び 次年度活動方針（案）
3月 11日(月)	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会総会 (総合あんしんセンター3階大会議室)	当該年度の活動の総括及び 次年度活動方針

(イ) 行事・研修会関係

開催日	名称 (開催場所)	内容
4月22日（土）	赤十字運動月間啓発パレード (県庁正庁ホール、 帯屋町アーケード)	5月の赤十字運動月間に向けパレードを実施。 土佐女子中学・高校の吹奏楽部の先導により、JRC メンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議 会、賛助奉仕団、地域奉仕団、青年奉仕団など赤十 字関係者約250名が帯屋町アーケードをパレード。
5月18日（木）	全国赤十字大会 (明治神宮会館)	参会者：日赤職員含め13名
5月28日（日）	高知県総合防災訓練 防災フェスティバル (奈半利港)	防災フェスティバル内のブースにて、安全赤十字奉 仕団による救急法の体験コーナーと地域奉仕団による ハイゼックスと大釜を使った炊き出しを実施。出来上 がったおにぎりは、密封の状態で来場者へ配布した。 参加者：室戸市地区、安芸地区の地域奉仕団16名及 び事務担当者6名、安全赤十字奉仕団2名
8月26日（土） ～ 8月28日（月）	赤十字ボランティア・ リーダー研修会 (東京本社)	東京本社で開催。基礎研修会受講済みの奉仕団を対 象としたリーダー研修会。 参加者：1名が参加予定であったが、予定者の都合 で参加取消。
11月14日（木） ～ 11月15日（金）	中国・四国ブロック 赤十字奉仕団研修会 (岡山県支部)	岡山県支部主催で開催。奉仕団を対象とした基礎研 修会に地域奉3名が参加。
1月26日（金） ～ 1月28日（日）	赤十字奉仕団 支部指導講師研修会 (東京本社)	東京本社で開催。指導講師に関する研修会。 参加者：指導講師候補者から1名が参加。



5月18日（木）
全国赤十字大会（東京明治神宮会館）



5月28日（日）
高知県総合防災訓練（奈半利港）

エ 各地域での奉仕団活動について

各地域での奉仕団活動をはじめ、安心・安全に活動を活発に行うため、地区分区等と共同で災害時にも使えるロープの使い方や炊き出しなど防災・減災力を高める活動を行った。

また、各地域のイベントにおいて、各地区分区事務局には、赤十字紹介パネルの掲示や募金箱設置にもご協力いただいた。

(2) 特殊奉仕団

赤十字特殊奉仕団総会開催し、令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動予定について協議を行い、併せて各団の活動実績をご報告いただいた。また、規約の改正を行い、赤十字特殊奉仕団高知県支部連絡協議会と名称を改めた。

開催日	名称（開催場所）	内容
8月29日（火）	赤十字特殊奉仕団総会 (高知県支部多目的室)	令和4年度の活動報告及び 令和5年度の活動予定について 各団の活動実績の報告について 規約の改正について

(3) 青年奉仕団

社会人・高知県立大学メンバー9名と高知大学の学生赤十字奉仕団（以下「学奉」という。）メンバー1名で活動している。活動内容として支部主催行事への参加・運営協力など下記のとおり。

また、メンバー募集や活動情報発信の手段としてTwitterを活用している。（右写真）



日 時	活動名	内容
4月22日（土）	赤十字運動月間啓発パレード	5月の赤十字運動月間に向けたパレードを実施。土佐女子中学・高校の吹奏楽部の先導により、JRCメンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議会、賛助奉仕団、地域奉仕団など赤十字関係者約250名が帯屋町をパレードした。
9月23日（土） 9月24日（日）	第5ブロック 青年赤十字奉仕団研修会	今後の活動に活かせる知識と技術を習得し、団員の資質の向上を図ることを目的として開催。赤十字やボランティアへの理解を深め、今後の活動計画の作成等を行い、相互の親睦を図った。 (令和5年度は本県からの参加なし)
12月3日（日）	NHK 海外たすけあい 街頭募金	世界各地で多発する紛争や災害等による犠牲者の緊急救援、保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業を実施するための必要な資金を確保することを目的としたNHK 海外たすけあい街頭募金をJRCメンバーや地域奉仕団と一緒に行った。

6. 赤十字思想の普及・広報活動

県民の皆さんに赤十字活動への理解を深めてもらうため、広報紙の発行やホームページによる広報活動をはじめ、県内各地で開催される赤十字講習会等を通じて、「県民の目に見える活動」の推進に取り組んだ。

(1) 赤十字月間、イベント

5月の赤十字月間に合わせて4月22日

(土)に赤十字運動月間啓発パレードを実施。

また、例年どおり各市町村でのポスター掲示や支部広報誌「ふれあい」、チラシの各戸配布、本社提供のテレビ・ラジオCMを放送するとともに、高知城下のお堀沿いに啓発用の登旗を5月末まで設置し、赤十字を広くPRした。

8月には救急法講習の様子をテレビ放送し、活動資金への協力を呼び掛けた。



(2) DM(ダイレクトメール)、広報誌等

DMは年2回、約8,800通（前年約8,500通）の発送を行った。

1度目は従来の協力者に引き続きの協力を依頼するため、5月の赤十字運動月間にを中心に各地区・分区の協力を得ながら約5,300通を発送した。2度目は新規協力者の獲得を目的に、過去に義援金や海外たすけあいなど赤十字を通じた寄付の経験者や本社から提供された法人データを主な対象として3月に約3,500通を発送した。

支部広報紙「ふれあい」は4月に30,000部（前年28,800部）、10月に18,550部（前年18,550部）を作成し地区・分区を通じて地域住民に配布したほか、赤十字会員、地域奉仕団、講習会の参加者、献血協力者、管内施設利用者などに配布した。

また、会員への定期的かつ積極的な情報提供を強化するため、令和2年12月から本社が作成する全国統一会員誌の活用を開始しており、令和5年度も7月と12月に同会員誌による情報提供を県内会員に対し行った。

(3) 赤十字思想の普及

赤十字の活動を広く知ってもらうため、ホームページに活動の様子を掲載するように努めた。令和6年能登半島地震では、救護班等の出発式や帰着式、また義援金の受領式の様子を適時掲載するとともに、救護班等の報告会を開催する際には、奉仕団員や地区分区担当者にも参加を呼び掛けた。

また、マスメディアにもその都度プレスリリースを流し、テレビや新聞等を通じて、広く県民に赤十字を知ってもらうように努めた。

7. 会員、活動資金

(1) 会員概要

○ 令和5年度赤十字会員数 (令和3年度までは各地区分区からの報告に基づく会員数)

	個 人	法 人	合 計
令和 元年度 (年度末実績)	1, 751	724	2, 475
令和 2年度 (年度末実績)	1, 385	692	2, 077
令和 3年度 (年度末実績)	1, 122	602	1, 724
令和 4年度 (年度末実績)	1, 179	1, 478	2, 657
令和 5年度 (年度末実績)	1, 698	1, 159	2, 857

※令和4年度から会員システムを導入

(2) 活動資金募集状況

昨年度との比較では、活動資金の合計が4年度の実績額92,848千円程に対して、5年度実績額は87,287千円程と5,561千円程減少した。

特殊要因として、100万円以上の高額寄付が2件2,000千円と病院指定寄付が3件850千円あり、4年度は100万円以上の高額寄付が2件2,100千円と病院指定寄付が2件5,300千円であったため、特殊要因を除いても4年度より1,011千円程減少しており、例年に増して厳しい状況となっている。

一般・法人の別では、一般活動資金は、4年度の実績額73,251千円程に対して、5年度実績額は67,792千円程と5,459千円程減少した。この中に4年度は病院指定寄付5,000千円が含まれているため、実質的には459千円程減少している。

法人活動資金は、4年度実績額19,596千円程に対して、5年度実績額は19,494千円程で102千円程の減であったが、法人の病院指定寄付が4年度より550千円増加しているため、実質的には652千円程減少した。

○ 令和5年度活動資金実績

	一 般	法 人	合 計
令和元年度	71, 042, 088円	28, 736, 250円	99, 778, 338円
令和2年度	74, 339, 902円	17, 284, 794円	91, 624, 696円
令和3年度	68, 798, 749円	17, 967, 886円	86, 766, 635円
令和4年度	73, 251, 810円	19, 596, 330円	92, 848, 140円
令和5年度	67, 792, 878円	19, 494, 477円	87, 287, 355円

(※ 地区分別の実績は39頁)

(※ 指定、高額寄付を含む)

(3) 活動資金目標額設定会議

全16地区で開催され令和5年度各地区分区別の活動資金目標額を設定いただいた。

地区的目標額設定会議には支部職員も出席し、目標額の設定だけでなく募集協力者に対し赤十字活動の報告及び活動資金への協力依頼を行った。

(4) 日赤市地区・町村分区事務担当者会

令和4年度と同様、Microsoft TeamsによるWEB会議として令和5年4月10日及び11日の2回に分けて開催し、16市町村の赤十字事務担当者が出席した。

各地域において、より一層地域ニーズに合った赤十字事業を展開するため、赤十字に関する基礎的な知識・事務を伝達した。

(5) 企業等とのパートナーシップ

赤十字サポーター制度

「人のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進してくださる企業・団体のサポーターを求めて、また、赤十字と企業・団体の間における、社会貢献のためのパートナーシップを図ることを目的とし、活動資金の増額も含めて赤十字サポーター事業を推進している。令和5年度に新たに登録した個人・法人はなかった。

現在登録の法人、個人は以下のとおりである。

○ 赤十字サポーター 認定企業・団体・病院・個人一覧

R6/3/31 現在

企業・団体名	代表者	
	職	氏名
1 株式会社 四国銀行	取締役会長	山元 文明
2 株式会社 高知銀行	取締役頭取	海治 勝彦
3 高知スタンダード石油株式会社	代表取締役	手嶋 邦彦
4 株式会社 垣内	代表取締役社長	垣内 大輔
5 高知空港ビル株式会社	代表取締役社長	岩城 孝章
6 医療法人尚志会 愛幸病院	理事長	西原 東香
7 株式会社 高知丸高	代表取締役社長	高野 一郎
8 一般社団法人 高知県建設業協会		
9 株式会社 轟組	代表取締役社長	吉村 文次
10 サンピア セリーズ	代表取締役社長	吉村 文次
11 株式会社ビル環境衛生管理	代表取締役社長	細田 覚
12 須工ときわ株式会社	代表取締役社長	國藤 浩史
13 株式会社土居建設	代表取締役社長	土居 三平
14 株式会社ニッサン・コンサルティング	代表取締役	西口 昌宏
15 高知中央電気工事業協同組合	理事長	棚野 愛一郎
16 公益社団法人 高知県薬剤師会	会長	西森 康夫
17 一般社団法人 高知県歯科医師会	会長	野村 和男
18 公益社団法人 高知県看護協会	会長	藤原 房子
19 四国開発株式会社	代表取締役社長	久米 慶典
個人	戸梶 恵子	松本 啓司
		西口 昌宏

(6) 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式

令和5年10月18日、総合あんしんセンターにて、下記のとおり活動資金功労部門の社長感謝状および金色有功章の伝達と、活動資金募集活動等への功労を称え、個人または各地区分区へ濱田支部長より表彰を行う式典が執り行われた。

ア 令和5年度 日本赤十字社有功章等受章者

(ア) 活動資金功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
社長感謝状	金色有功章受章後さらに50万円以上に達した都度個人・法人	社長感謝状（賞状）	法人5社
金色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で50万円以上に達した個人・法人	個人：金色有功章（賞状）・章記 法人：金色有功章（楯式）	個人2名 法人8社
銀色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で20万円以上に達した個人・法人	銀色有功章（楯式）	個人3名 法人24社
支部長感謝状	活動資金が一時又は累計で10万円以上に達した個人・法人	支部長感謝状（賞状）	個人10名 法人21社
合計			個人15名 法人58社

(イ) 献血功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰物品	表彰者数
金色有功章	献血回数100回以上	金色ガラス盃	個人36名
銀色有功章	献血回数70回以上	銀色ガラス盃	個人71名

(ウ) 献血推進功労部門

表彰区分	表彰物品	表彰者数
献血推進	支部長感謝状（賞状）	法人1社

イ 令和5年度 支部長表彰受章者

(ア) 活動資金募集奉仕勤続 10 年以上の個人 (表彰状贈呈)

高知市地区 8 名、安芸市地区 1 名、香南市地区 3 名、南国市地区 9 名、須崎市地区 10 名、土佐清水市地区 1 名、安田町分区 1 名、黒潮町分区 3 名 以上 36 名

(イ) 活動資金目標達成率 120% 以上の地区分区 (表彰状贈呈)

(地区) 対象なし

(分区) 高知市 (北街、布師田) 室戸市 (吉良川) 安芸市 (穴内、井ノ口、土居、江川、内原野、伊尾木、下山、畠山) 香南市 (香我美町、夜須町) 南国市 (上倉北部、上倉南部、岡豊、長岡東部、岩村、稻生、三和) 須崎市 (南) 安芸 (馬路村) 中央東 (大川村) 以上 23 分区

(ウ) 活動資金目標達成率 100% 以上の地区分区 (感謝状贈呈)

(地区) 安芸市地区 香南市地区 安芸地区 中央東地区 以上 4 地区

(分区) 高知市 (上街、高知街、江ノ口、五台山、御畠瀬、土佐山、鏡) 安芸市 (黒鳥、赤野、川北) 南国市 (野田、前浜、後免) 土佐市 (波介) 須崎市 (須崎、多ノ郷) 宿毛市 (橋上) 安芸 (奈半利町、田野町、芸西村) 中央西 (大豊町、本山町) 高幡 (津野町) 幡多 (三原村) 以上 24 分区



【有功章等受章者】



【謝辞を述べる受章者代表】



【支部長表彰受章者】

8. 評議員会、有功会等

(1) 評議員会

- ア 第1回評議員会は、令和5年6月6日に高知赤十字病院4階ホールで開催され、令和4年度の事業報告及び歳入歳出決算について承認された。
- イ 第2回評議員会は、令和6年2月7日に高知赤十字病院4階ホールで開催され、令和6年度の事業計画（案）と歳入歳出予算（案）について承認された。

(2) 高知県赤十字有功会

ア 総会

- ・令和5年6月20日（火）、三翠園（富士の間）で行い、有功会員25名が出席し、全議案について承認された。

- ① 令和4年度高知県赤十字有功会事業報告及び収支決算書について
- ② 令和5年度高知県赤十字有功会事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③ 役員改選（案）について
- ④ 特別講演：「世界の人道危機に対する赤十字の対応について」
(講師：日本赤十字社事業局 国際部企画課長 大山 啓都 氏)

イ 全国赤十字紺綏有功会長総会

令和5年10月12日（木）、広島市のANAクラウンプラザホテル広島で行われ、高知県赤十字有功会長の西山彰一様にご出席していただいた。

ウ 理事会

- ・第1回は、令和5年6月20日（火）、総会前に三翠園（桜の間）で行われた。
- ・第2回は、令和6年3月25日（月）、高知赤十字病院4階ホールで開催し、下記のことについて承認及び協議がなされた。
 - ① 令和5年度事業経過報告及び収支決算（見込み）について
 - ② 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ③ その他協議事項 令和6年度の特別講演及び研修旅行について ほか

エ 支援事業 赤十字各施設に対して、下記の助成を行っていただいた。

施設	助成内容
高知県支部事務局	① 青少年赤十字事業に対して30万円を助成
高知赤十字病院	② LEDライト付きボールペンを1,500本（10万円）を助成
高知県赤十字血液センター	③ 啓発用卓上カレンダーの製作費用として10万円を助成



【青少年赤十字事業】



② 【LED ライト付きボールペン】



③ 【卓上カレンダー】

(3) アドバイザーミーティング

- ・第1回は、令和5年6月2日、高知県支部多目的室にて、令和4年度の事業報告及び収支決算を基に支部を取り巻く環境の変化によりよく対応するため、取り組むべき方向性や課題、また高知県支部庁舎のあり方等について検討がなされた。
- ・第2回は、令和6年2月5日、高知県支部多目的室にて、令和5年度の事業経過報告及び決算見込、令和6年度の事業計画（案）及び予算案について検討された。

9. 旧社屋及びプレハブの解体

昭和43年に建築された旧社屋は、平成22年に事務所機能を現在の総合あんしんセンター1階に移して以降、資機材等の保管場所として活用してきたが、令和3年度に耐震診断を受けた結果、大規模地震に対して倒壊又は崩壊する恐れがあることが判明し、災害時の緊急輸送道路にも面していることから、早急に対策を講じる必要があった。

赤十字三施設の幹部職員で構成する「高知県支部のあり方検討会」を立ち上げ、将来的な移転も含めた支部機能のあり方について検討を重ね、老朽化の激しい旧社屋とプレハブを先行して解体し、旧社屋跡地は将来の資金確保のため、当面の間は、貸駐車場として活用することが最善最良との結論に至り、6月6日開催の評議員会で方向性について承認を得る。その後、解体に向けて取り組み、令和6年3月、解体工事に着手した。

（令和6年8月、解体工事完了予定）



解体前



解体工事中

10. 決算概要

令和5年度 一般会計歳入歳出決算概算書

(単位：千円)

歳入

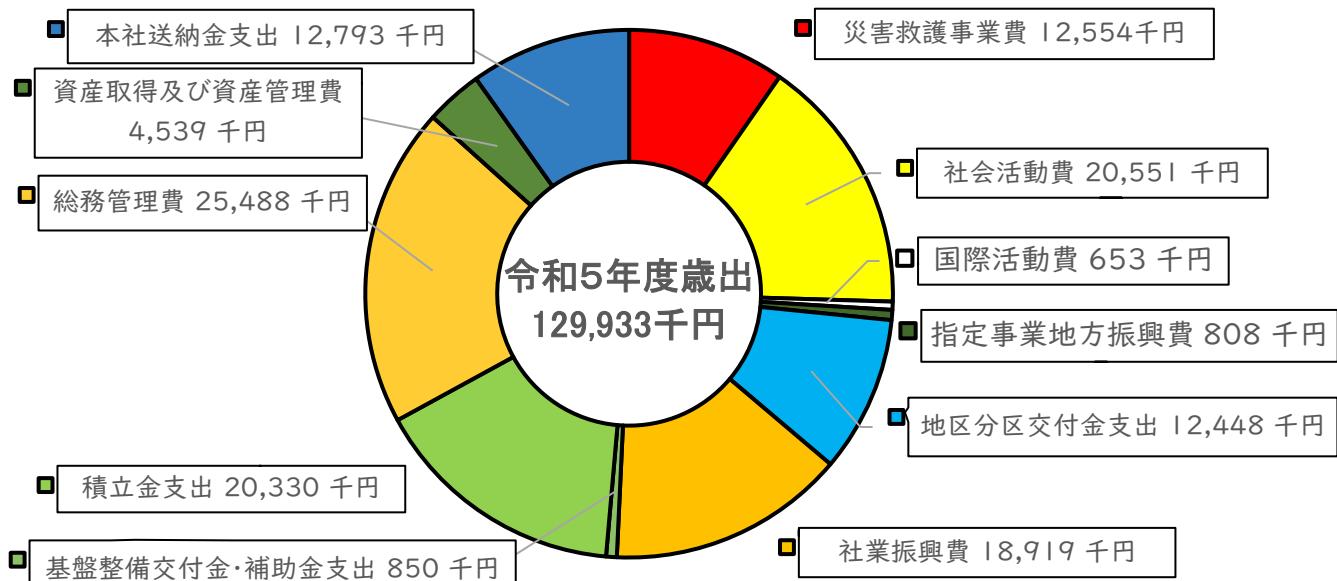
科目	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年増減
活動資金収入	87,395	93,817	△ 6,422
委託金等収入	244	2,612	△ 2,368
補助金及び交付金収入	55,782	11,140	44,642
繰入金収入	526	1,574	△ 1,048
雑収入	5,699	4,640	1,059
前年度繰越金	30,546	22,206	8,340
歳入計	180,191	135,989	44,202

歳出

災害救護事業費	12,554	10,512	2,042
社会活動費	20,551	17,014	3,537
国際活動費	653	1,512	△ 859
指定事業地方振興費	808	1,669	△ 861
地区分区交付金支出	12,448	12,672	△ 224
社業振興費	18,919	16,279	2,640
基盤整備交付金・補助金支出	850	5,300	△ 4,450
積立金支出	20,330	4,194	16,136
総務管理費	25,488	21,715	3,773
資産取得及び資産管理費	4,539	949	3,590
本社送納金支出	12,793	13,627	△ 834
歳出計	129,933	105,443	24,490
歳入歳出差引（翌年度繰越額）	50,258	30,546	19,712

※5年度の歳入歳出差引（翌年度繰越額）50,258千円には、解体に要する繰越事業の財源30,101千円を含む。

※千円未満を四捨五入しているため、歳出と歳入それぞれの各項目の合計額と表示している合計額は一致しないこと。



11. 資料

【 令和5年度 地区分別活動資金実績 】

(単位:円)

項目 地区区分名	目標額			令和5年度実績額				前年度比						令和4年度決算額		
	一般	法人	合計	一般	法人	合計	目標額達成率	一般		法人		合計		一般	法人	合計
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G) =(F)/(C)	(H) =(D)-(N)	(I)	(J) =(E)-(O)	(K)	(L) =(F)-(P)	(M)	(N)	(O)	(P)
1 高知市	35,469,000	6,342,000	41,811,000	17,716,014	7,131,821	24,847,835	59.4%	△ 512,934	97.2%	△ 24,755	99.7%	△ 537,689	97.9%	18,228,948	7,156,576	25,385,524
2 室戸市	1,867,000	186,000	2,053,000	1,126,700	286,000	1,412,700	68.8%	△ 97,800	92.0%	20,500	107.7%	△ 77,300	94.8%	1,224,500	265,500	1,490,000
3 安芸市	2,396,000	318,000	2,714,000	2,470,210	489,500	2,959,710	109.1%	△ 80,076	96.9%	△ 16,100	96.8%	△ 96,176	96.9%	2,550,286	505,600	3,055,886
4 香南市	3,817,000	215,000	4,032,000	3,673,892	408,500	4,082,392	101.2%	△ 225,014	94.2%	6,000	101.5%	△ 219,014	94.9%	3,898,906	402,500	4,301,406
5 香美市	3,531,000	312,000	3,843,000	2,058,952	301,500	2,360,452	61.4%	△ 155,931	93.0%	△ 24,500	92.5%	△ 180,431	92.9%	2,214,883	326,000	2,540,883
6 南国市	5,515,000	885,000	6,400,000	4,946,361	972,000	5,918,361	92.5%	△ 236,215	95.4%	374,000	162.5%	137,785	102.4%	5,182,576	598,000	5,780,576
7 土佐市	3,393,000	423,000	3,816,000	2,529,321	90,000	2,619,321	68.6%	△ 81,123	96.9%	△ 5,000	94.7%	△ 86,123	96.8%	2,610,444	95,000	2,705,444
8 須崎市	2,703,000	408,000	3,111,000	2,164,000	450,000	2,614,000	84.0%	△ 267,100	89.0%	3,000	100.7%	△ 264,100	90.8%	2,431,100	447,000	2,878,100
9 四万十市	4,271,000	705,000	4,976,000	2,638,494	345,000	2,983,494	60.0%	67,374	102.6%	△ 49,544	87.4%	17,830	100.6%	2,571,120	394,544	2,965,664
10 宿毛市	2,824,000	363,000	3,187,000	2,042,277	210,000	2,252,277	70.7%	△ 1,773	99.9%	△ 47,000	81.7%	△ 48,773	97.9%	2,044,050	257,000	2,301,050
11 土佐清水市	2,182,000	180,000	2,362,000	1,430,667	120,000	1,550,667	65.7%	△ 3,973	99.7%	△ 20,000	85.7%	△ 23,973	98.5%	1,434,640	140,000	1,574,640
12 安芸【合計】	2,371,000	189,000	2,560,000	2,233,690	562,000	2,795,690	109.2%	△ 16,310	99.3%	113,000	125.2%	96,690	103.6%	2,250,000	449,000	2,699,000
13 東洋町	376,000	36,000	412,000	202,500	0	202,500	49.2%	△ 2,500	98.8%	0	—	△ 2,500	98.8%	205,000	0	205,000
14 奈半利町	413,000	45,000	458,000	363,500	176,000	539,500	117.8%	9,650	102.7%	4,000	102.3%	13,650	102.6%	353,850	172,000	525,850
15 田野町	393,000	21,000	414,000	380,300	112,000	492,300	118.9%	1,850	100.5%	0	100.0%	1,850	100.4%	378,450	112,000	490,450
16 安田町	386,000	39,000	425,000	320,900	90,000	410,900	96.7%	△ 18,000	94.7%	5,000	105.9%	△ 13,000	96.9%	338,900	85,000	423,900
17 北川村	196,000	9,000	205,000	206,090	114,000	320,090	156.1%	2,590	101.3%	114,000	—	116,590	157.3%	203,500	0	203,500
18 馬路村	121,000	18,000	139,000	186,000	60,000	246,000	177.0%	△ 6,200	96.8%	△ 10,000	85.7%	△ 16,200	93.8%	192,200	70,000	262,200
19 芸西村	486,000	21,000	507,000	574,400	10,000	584,400	115.3%	△ 3,700	99.4%	0	100.0%	△ 3,700	99.4%	578,100	10,000	588,100
20 中央東【合計】	1,782,000	195,000	1,977,000	1,695,466	434,000	2,129,466	107.7%	△ 36,702	97.9%	7,000	101.6%	△ 29,702	98.6%	1,732,168	427,000	2,159,168
21 大豊町	673,500	66,000	739,500	736,900	97,000	833,900	112.8%	△ 26,300	96.6%	1,000	101.0%	△ 25,300	97.1%	763,200	96,000	859,200
22 本山町	507,500	57,000	564,500	518,286	119,000	637,286	112.9%	△ 6,932	98.7%	△ 1,000	99.2%	△ 7,932	98.8%	525,218	120,000	645,218
23 土佐町	546,000	69,000	615,000	382,830	188,000	570,830	92.8%	△ 11,920	97.0%	7,000	103.9%	△ 4,920	99.1%	394,750	181,000	575,750
24 大川村	55,000	3,000	58,000	57,450	30,000	87,450	150.8%	8,450	117.2%	0	100.0%	8,450	110.7%	49,000	30,000	79,000
25 中央西【合計】	7,397,000	666,000	8,063,000	5,479,230	225,000	5,704,230	70.7%	△ 84,543	98.5%	150,000	300.0%	65,457	101.2%	5,563,773	75,000	5,638,773
26 いの町	3,271,000	295,000	3,566,000	1,901,142	30,000	1,931,142	54.2%	△ 81,531	95.9%	△ 20,000	60.0%	△ 101,531	95.0%	1,982,673	50,000	2,032,673
27 仁淀川町	897,000	80,000	977,000	789,300	195,000	984,300	100.7%	△ 111,500	87.6%	170,000	780.0%	58,500	106.3%	900,800	25,000	925,800
28 佐川町	1,708,000	154,000	1,862,000	1,407,590	0	1,407,590	75.6%	63,690	104.7%	0	—	63,690	104.7%	1,343,900	0	1,343,900
29 越知町	822,000	74,000	896,000	747,600	0	747,600	83.4%	△ 6,800	99.1%	0	—	△ 6,800	99.1%	754,400	0	754,400
30 日高村	699,000	63,000	762,000	633,598	0	633,598	83.1%	51,598	108.9%	0	—	51,598	108.9%	582,000	0	582,000
31 高幡【合計】	4,823,000	318,000	5,141,000	4,129,501	60,000	4,189,501	81.5%	165,201	104.2%	40,000	300.0%	205,201	105.2%	3,964,300	20,000	3,984,300
32 中土佐町	1,052,500	87,000	1,139,500	811,501	0	811,501	71.2%	15,601	102.0%	0	—	15,601	102.0%	795,900	0	795,900
33 四万十町	2,491,500	99,000	2,590,500	1,942,000	10,000	1,952,000	75.4%	103,000	105.6%	0	100.0%	103,000	105.6%	1,839,000	10,000	1,849,000
34 棚原町	519,000	54,000	573,000	486,000	20,000	506,00										